I N F O R M A T I O N

報恩講は浄土真宗の宗祖親鸞聖人のご命日に合わせて各真宗寺院で毎年勤修する親鸞聖人ご命日法要で、徳泉寺では一番大きな年間行事です。

今年は４年ぶりに他寺院のご住職をお迎えすることとなりました。コロナ禍以前の形式を徐々に取り戻すことができればと考えています。

ご法話の講師には、花巻市通來寺御住職、清谷真澄氏をお迎えします。清谷氏は震災時には宗派の災害対策本部長を務め、その後東北別院の輪番を経て現在御自坊にお戻りです。震災、疫病、戦争、貧困問題など現代社会と真宗の教えについて丁寧にお話しくださいます。ぜひお運びください。

令和5年度　徳泉寺

報恩講

日　令和5年10月24日（火）
時　12:30　受付
　　13:00　勤行
　　14:00　法話

講師　清谷真澄　氏
（岩手県花巻市通來寺住職）
（元　東北別院　輪番）

今月のことば

人間を尊重するということは
相手の話を最後まで静かに聞くことである
安田理深

明治から昭和の時代を生きられた仏教学者で浄土真宗の僧侶、安田理深さんの言葉です。
自分も相手の言葉を遮ることがあるな、自分の思いを優先していたんだなと、はっとさせられます。何度も思い出したい言葉です。

ぼうもりのひとりごと
真実を伝え続けるために物語の形式をとるということがあるそうです。時代が流れ言語や習慣や民族が変わっても、物語であれば語り継がれて真実が伝わるのだそうです。お釈迦様のお話しもそのひとつだと感じます。

ムクゲ

十月同朋会

十月十四日（第二土曜日）

時　午後一時から三時半
内容　勤行(正信偈真四句目下)
　　絵本「しんらんさま」朗読
　　住職法話
　　茶話会（お茶代５００円）

お勤めの練習をしたり、親鸞聖人の一生を描いた絵本を朗読したりと報恩講の意義を確認します。